



# 2025年4月期第1四半期 決算説明資料

株式会社アストロスケールホールディングス  
(証券コード：186A)

2024年9月13日



# ご留意事項

本プレゼンテーション資料は、株式会社アストロスケールホールディングス（以下「当社」または「アストロスケール」）により、情報提供のみを目的として作成しております。本プレゼンテーション資料には、当社の将来の見通しおよび計画に関する当社の現時点における期待、見積りおよび予測に基づく記述が含まれております。これらの記述は、本プレゼンテーション資料の日付または他の特定の日付時点における当社の仮定および見通しを反映しています。これらの前向きな記述が実現するという保証はありません。

実際の結果は、当社のミッションの開発や運用における変化または不利な結果、顧客の計画やニーズの変更、競争、法的小および規制環境の変更その他の要因を含む様々な要因により、これらの記述に示されたものと実質的に異なる場合があります。

したがって、これらの記述に過度の信頼を置かないように注意が必要です。当社は、適用法または証券取引所の規則および規制により要求される場合を除き、本プレゼンテーション資料に含まれる情報をその後の進展に基づいて更新または修正する義務を負いません。

本書には、引用されている第三者の情報に基づくまたは派生した情報が含まれています。当社は、第三者の情報の正確性または完全性を独自に検証しておらず、また、その正確性または完全性を当社が保証するものではありません。

# 目次

---

Section 1: 2025年4月期第1四半期 ハイライト

---

Section 2: 2025年4月期第1四半期 決算概要

---

Section 3: 受注残高、パイプライン、2025年4月期通期見通し

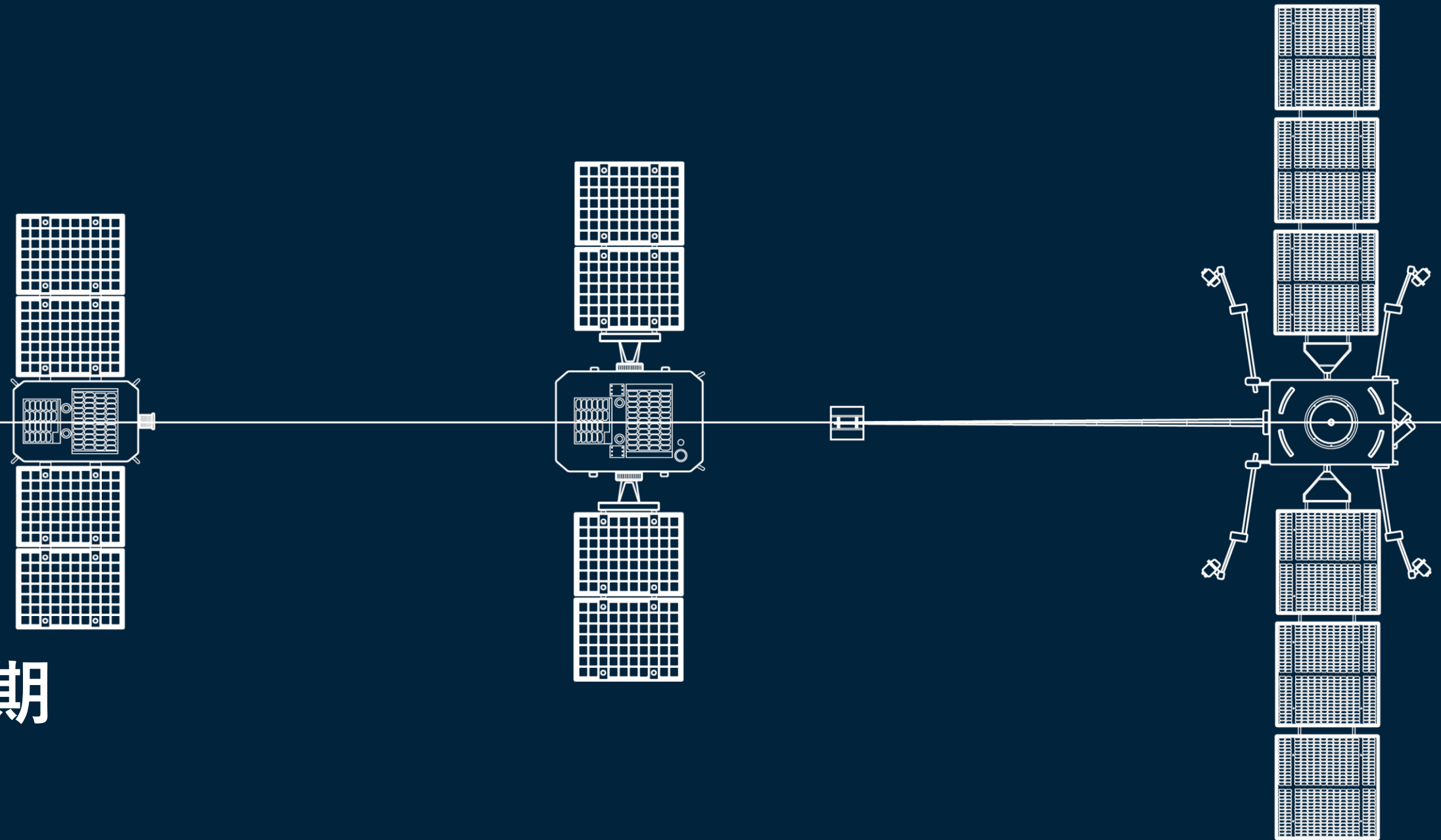
---

Section 4: その他の活動

---

Appendix

本資料では特に明記されていない限り、以下の通りとする。  
為替前提：US\$1 = ¥140, €1 = ¥150, £1 = ¥175。  
年度表記：「202X年度」は「202X年4月期」と同等の期間を指す。  
四半期表記：「Q1」は毎年5月1日から7月31日までの第1四半期を指す。



SECTION 1

# 2025年4月期第1四半期 ハイライト



# 2025年4月期第1四半期 ハイライト

## FY2025 Q1 重要指標

1. ADRAS-Jミッションにより、世界で初めて本物のデブリの撮影および周回観測に成功し、当社RPO技術を再度実証。
2. 世界各国で、合計25.8億円におよぶ複数の契約を締結。
3. Airbus Defence and Space Limitedと戦略的なパートナーシップに関する覚書を締結。
4. G7プーリアサミット等において政策強化に向けた動きが加速。
5. 第1四半期実績は計画通り。2025年4月期通期予想（プロジェクト収益 180億円）は変更無し。

受注残高<sup>(1)</sup>： 279.75億円

プロジェクト収益<sup>(2)</sup>： 11.66億円  
(+102.1% YoY)

営業利益： -75.97億円

現預金： 273.4億円

(1) 受注残高は、ISSA-J1（従前はSBIRと称）フェーズ2、3等の現時点では未受注であるが、競合が存在しない後続フェーズで当社グループによる受注が期待できるもの、および2024年4月に選定され、2024年7月末時点では未締結のADRAS-J2の想定受注金額/受注残金額を含む。

(2) Non-IFRS指標。IFRSでは補助金はその他の収益認識となるが、プロジェクト収益は、国際会計基準（IFRS）により規定された指標ではなく、投資家が当社グループの業績を評価する上で、当社が有用と考える財務指標である。プロジェクト収益は、当社グループが提供するサービスの対価として取得する政府補助金収入を売上収益に加算して算出しており、分析手段として重要な制限があることから、国際会計基準に準拠して表示された他の指標の代替的指標として考慮されるべきではない。当社グループにおけるこれらの数値は、同業他社の同指標あるいは類似の指標とは算定方法が異なるために、他社における指標とは比較可能でない場合があり、その結果、有用性が減少する可能性がある。



# ADRAS-J：世界初のデブリ観測ミッション達成

撮影した観測対象のデブリ<sup>(1)</sup>

ADRAS-Jは当社が保有するRPO技術により世界で初めて本物のデブリの撮影および周回飛行に成功。

- 2月18日：打上げ成功、軌道上でのオペレーション開始
- 5月23日：デブリ後方約50mの距離へ接近に成功
- 5月23日：定点観測（1回目）を実施・成功
- 6月17日：定点観測（2回目）を実施・成功
- 6月19日：周回観測（1回目）を実施
- 7月14日：定点観測（3回目）を実施・成功
- 7月15日：周回観測（2回目）を実施・成功
- 7月16日：周回観測（3回目）を実施・成功



(1) 2009年に打ち上げられた日本のロケット上段。全長約11メートル、重量約3トン。



# 2025年4月期の契約締結済・獲得済案件: 合計149億円

## APS-R (受注金額の増加)

[\(プレスリリース\)](#)

- サービス: LEX (寿命延長サービス)
- 顧客: 米国宇宙軍
- 増額金額: 1.355百万ドル (約2.1億円)
- 契約締結日: 2024年6月17日

## ADRAS-J2

[\(プレスリリース\)](#)

- サービス: ADR (既存デブリの除去サービス)
- 受注先: 宇宙航空研究開発機構 (JAXA)
- 受注金額: 120億円
- 契約締結日: 2024年8月20日

## ELSA-M フェーズ4

[\(プレスリリース\)](#)

- サービス: EOL (運用終了後衛星の除去サービス)
- 顧客: 欧州宇宙機関 (ESA)  
英国宇宙庁 (UKSA)  
Eutelsat OneWeb
- 受注金額: 13.95百万ユーロ (約23.8億円)
- 契約締結日: 2024年7月18日

## COSMIC フェーズ2

[\(プレスリリース\)](#)

- サービス: ADR (既存デブリの除去サービス)
- 受注先: 英国宇宙庁 (UKSA)
- 受注金額: 1.95百万ポンド (約3.6億円)
- 契約締結日: 2024年9月5日

(1) ADRAS-J2とCOSMICフェーズ2は2025/4期第1四半期終了後に契約締結。



# Airbus Defence and Space Limitedとの戦略的なパートナーシップ

(プレスリリース)

- Astroscale Ltd (アストロスケール英国) は2024年8月に覚書を締結。
- 両社の強みと技術を共有することで、持続可能な宇宙環境の実現や衛星の運用可能年数の延長の課題解決を目指しながら、特に英国における軌道上サービス産業の発展と宇宙の循環型宇宙経済の確立を目指す。

## 協業分野

デブリ除去

軌道上サービス

軌道上のRPO

軌道上での組み立てと製造

衛星の燃料補給と寿命延長

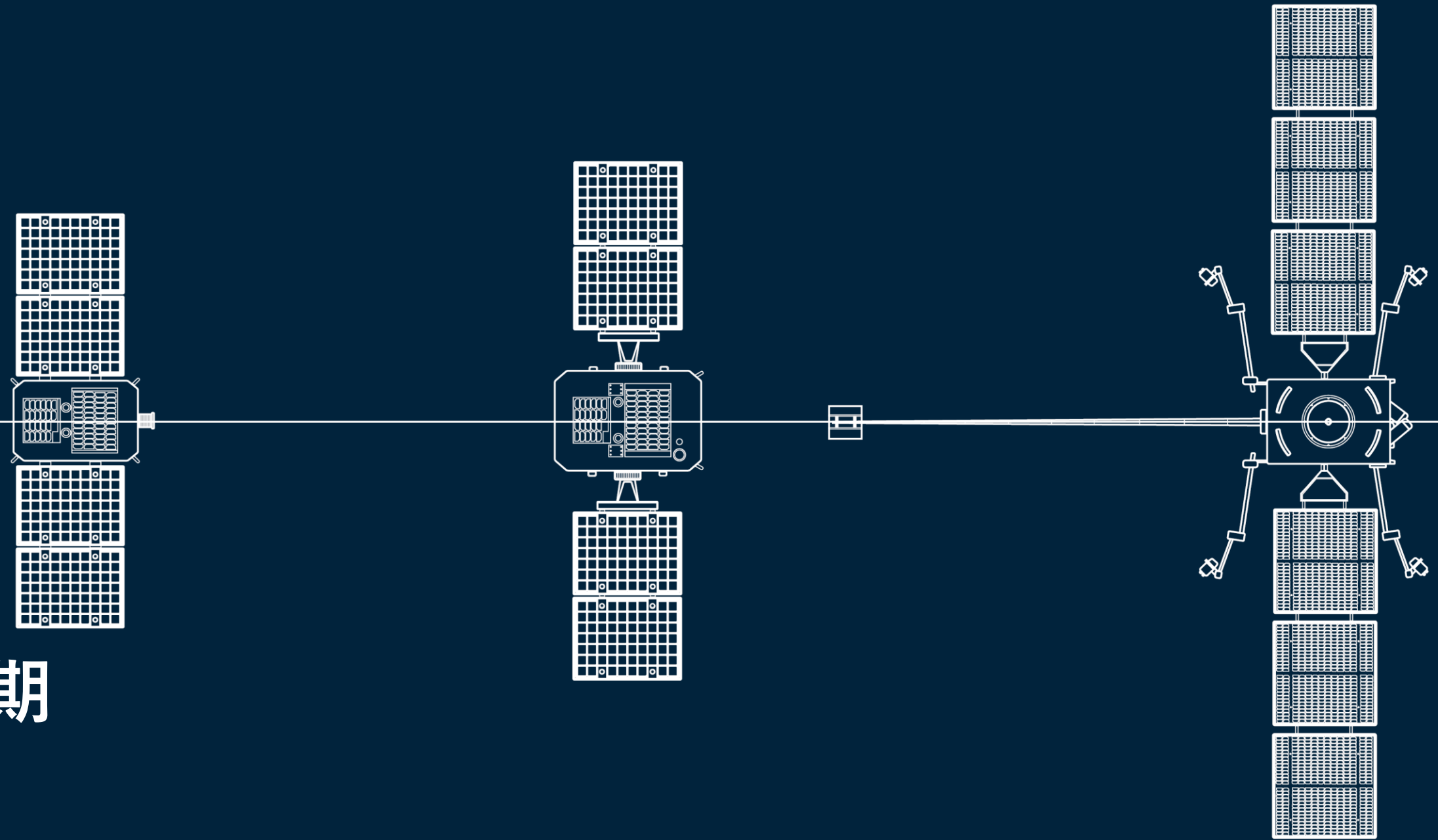




# G7プーリアサミット G7首脳コミュニケ（2024年6月）

*We strongly support the implementation of the International Guidelines adopted at the UN Committee on the Peaceful Use of Outer Space as urgent and necessary. We welcome national efforts to develop further solutions for space debris mitigation and remediation, including further research and development of orbital debris mitigation and remediation technologies, and the development of space sustainability standards and regulations.*

私たちは、国連宇宙空間平和利用委員会で採択された国際ガイドラインの実施を、喫緊かつ必要なものとして強く支持する。我々は、軌道上デブリの低減及び改善に関する技術の更なる研究開発、並びに宇宙の持続可能性に関する基準や規制の策定を含め、スペースデブリの低減と改善のための更なる解決策を進展させる各国の取組を歓迎する。



SECTION 2

# 2025年4月期第1四半期 決算概要



# 2025年4月期第1四半期実績

一時的要因によりQ1では損失が大きかったものの、年度末に向けて四半期業績の改善を見込む。

(百万円)		2024/4期 Q1	2025/4期 Q1	前年同期比増減
受注高		非開示	2,582	NM
プロジェクト収益	A	577	1,166	102.1 %
政府補助金収入	B	-	① 927	NM
売上収益	C = A - B	577	② 239	(58.5)%
売上原価	D	(745)	③ (3,740)	401.9 %
<b>売上総利益</b>	<b>E = C - D</b>	<b>(168)</b>	<b>(3,501)</b>	-
<b>売上総利益率</b>	<b>E / C</b>	<b>(29.1)%</b>	<b>(1,462.6)%</b>	-
販売費及び一般管理費（研究開発費）	F	(961)	④ (3,080)	220.2 %
販売費及び一般管理費（その他）	G	(1,340)	⑤ (2,170)	62.0 %
その他の収益	H	-	1,154	NM
政府補助金収入	B	-	927	NM
<b>営業利益</b>	<b>I = E ~ H</b>	<b>(2,470)</b>	<b>(7,597)</b>	-
<b>営業利益率</b>	<b>I / C</b>	<b>(428.0)%</b>	<b>(3,173.8)%</b>	-
税引前当期利益		(1,776)	(8,579)	-
当期利益		(1,776)	(8,579)	-
1ドル当たり円		139.90	157.19	12.4 %
1ポンド当たり円		177.17	200.18	13.0 %

- ① 新規補助金案件による増加 (APS-R、ISSA-J1<sup>(1)</sup>)。
- ② ADRAS-J、ELSA-Mフェーズ3及びCOSMICフェーズBの減収による一時的な減少。
- ③ ELSA-Mフェーズ4に係る受注損失引当金繰入額32億円の計上による一過性の増加。
  - 引当金計上額は想定通り。
- ④ 補助金案件の開発費用 (APS-R、ISSA-J1<sup>(1)</sup>) 及び未受注案件の先行開発費用 (LEXI-P等) の増加。
- ⑤ 人件費及びIPO関連費用の増加（金額は想定範囲内）。

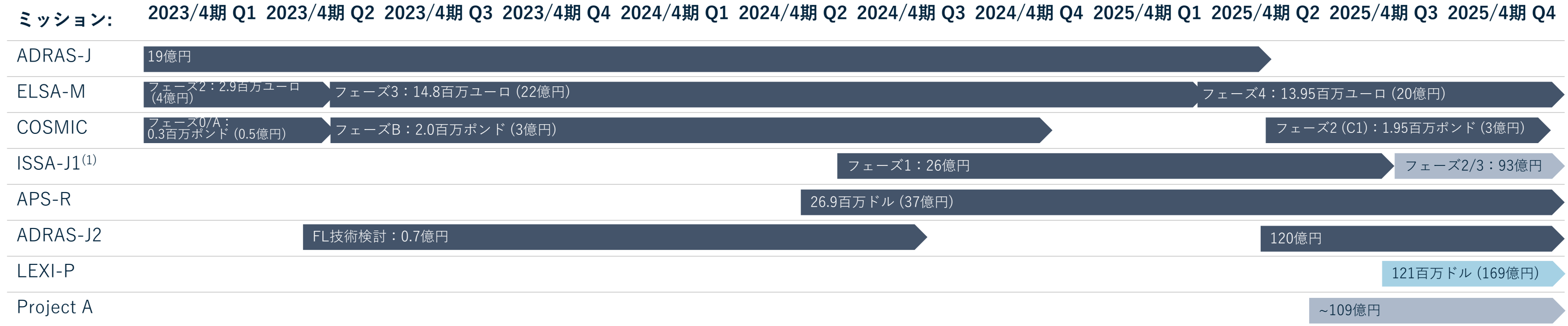
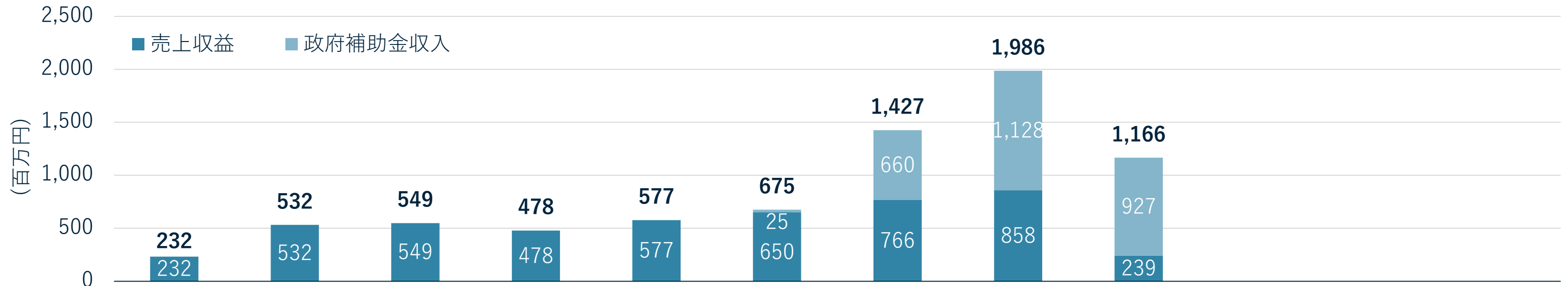
(1) 従前はSBIRと呼称。

注：プロジェクト収益: Non-IFRS指標。プロジェクト収益には、顧客からの売上収益と、特定のプロジェクトに使用される補助金に関連する政府補助金収入が含まれる。当社は、資金調達方法に関わらず幅広いプロジェクト活動を推進しているため、プロジェクト収益は、当社のプロジェクト関連活動から得られる収入源に関する追加情報を投資家に提供するものと考えている。経営陣は、プロジェクト関連活動の収入を示す主要な管理会計上の指標として、プロジェクト収益を注視している。



# プロジェクト収益：四半期実績推移

第1四半期は、ADRAS-J、ELSA-Mフェーズ3、COSMICフェーズBからの収入が減少したため、想定通りプロジェクト収益が減少。第2四半期以降はミッションに係る開発が加速することにより、増収を見込む。



(1) 従前はSBIRと呼称。  
 注：プロジェクトのタイムラインや未契約プロジェクトの契約金額等の詳細は、現時点における当社の想定であり、今後変更の可能性がある点に留意が必要。パイプラインの詳細については、18及び19ページを参照。



# 販売費及び一般管理費／その他の収益

販管費及びその他の収益は概ね想定通りの推移。

(百万円)	2024/4期 Q1	2025/4期 Q1	前年同期比増減
<b>販売費及び一般管理費</b>	(2,302)	(5,250)	<b>128.1 %</b>
研究開発費	(961)	(3,080)	220.2 %
純粋な研究開発費用	(92)	(55)	(40.1)%
補助金案件の開発費用	-	① (1,066)	NM
未受注案件の先行開発費用	(869)	② (1,958)	125.3 %
その他の販売費及び一般管理費	(1,340)	③ (2,170)	62.0 %

- ① 新規補助金案件による増加（APS-R、ISSA-J1<sup>(1)</sup>）。
- ② 未受注案件の先行開発費用の増加（LEXI-P等）。
- ③ 人件費及びIPO関連費用の増加（金額は想定範囲内）。

(百万円)	2024/4期 Q1	2025/4期 Q1	前年同期比増減
<b>その他の収益</b>	-	<b>1,154</b>	<b>NM</b>
政府補助金収入	-	④ 927	NM
その他	-	⑤ 227	NM

- ④ 新規補助金案件による増加（APS-R、ISSA-J1<sup>(1)</sup>）。
- ⑤ 税金還付等による収入。

(1) 従前はSBIRと呼称。



# バランスシート

当社は引き続き健全なバランスシートを維持。

(百万円)	2024/4	2024/7	増減率
<b>資産</b>	<b>24,990</b>	<b>38,366</b>	<b>53.5 %</b>
流動資産	17,746	31,229	76.0 %
現金及び現金同等物	14,196	① 27,340	92.6 %
その他の流動資産	3,549	3,888	9.6 %
非流動資産	7,244	7,136	(1.5)%
有形固定資産	6,214	6,107	(1.7)%
その他の非流動資産	1,029	1,029	(0.0)%
<b>負債</b>	<b>19,589</b>	<b>20,790</b>	<b>6.1 %</b>
流動負債	8,864	7,905	(10.8)%
借入金	2,487	② 3,099	24.6 %
引当金	2,071	③ ④ 2,095	1.1 %
その他の流動負債	4,304	2,710	(37.0)%
非流動負債	10,725	12,884	20.1 %
借入金	7,375	7,350	(0.3)%
引当金	271	④ 2,544	836.9 %
その他の非流動負債	3,078	2,989	(2.9)%
<b>資本</b>	<b>5,401</b>	<b>⑤ 17,575</b>	<b>225.4 %</b>
有利子負債	13,180	⑥ 13,669	3.7 %
1ドル当たり円	157.19	151.06	(3.9)%
1ポンド当たり円	196.88	194.02	(1.5)%

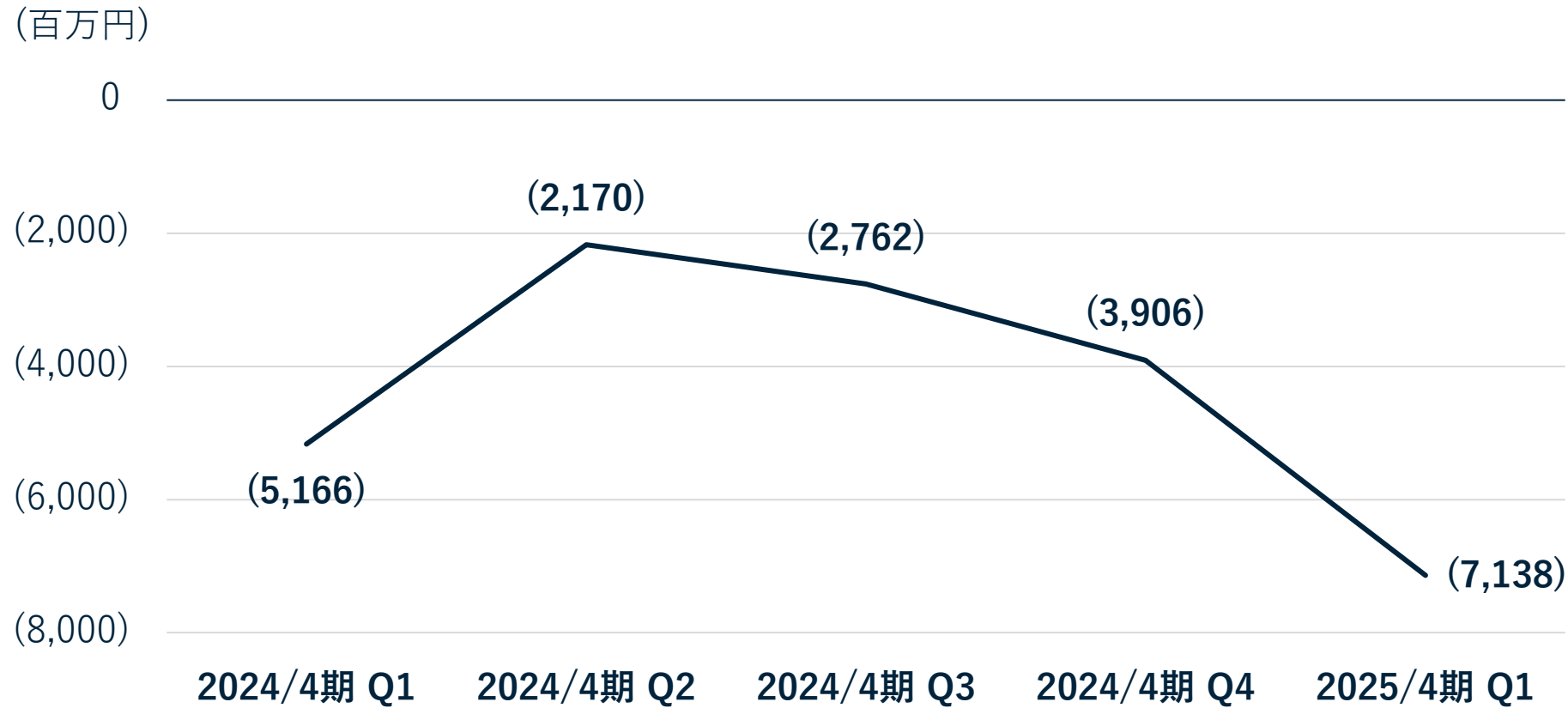
- ① IPO時公募増資による増加 (20,070百万円)。
- ② 融資枠の借入実行による増加。
- ③ ADRAS-J及びELSA-Mフェーズ3に係る受注損失引当金の戻入。
- ④ ELSA-Mフェーズ4に係る受注損失引当金計上。
- ⑤ IPO時公募増資による増加分が損失を相殺。
- ⑥ 内訳：
  - 借入金：10,450百万円
  - リース債務：3,219百万円



# キャッシュ・フローと現預金／借入金残高

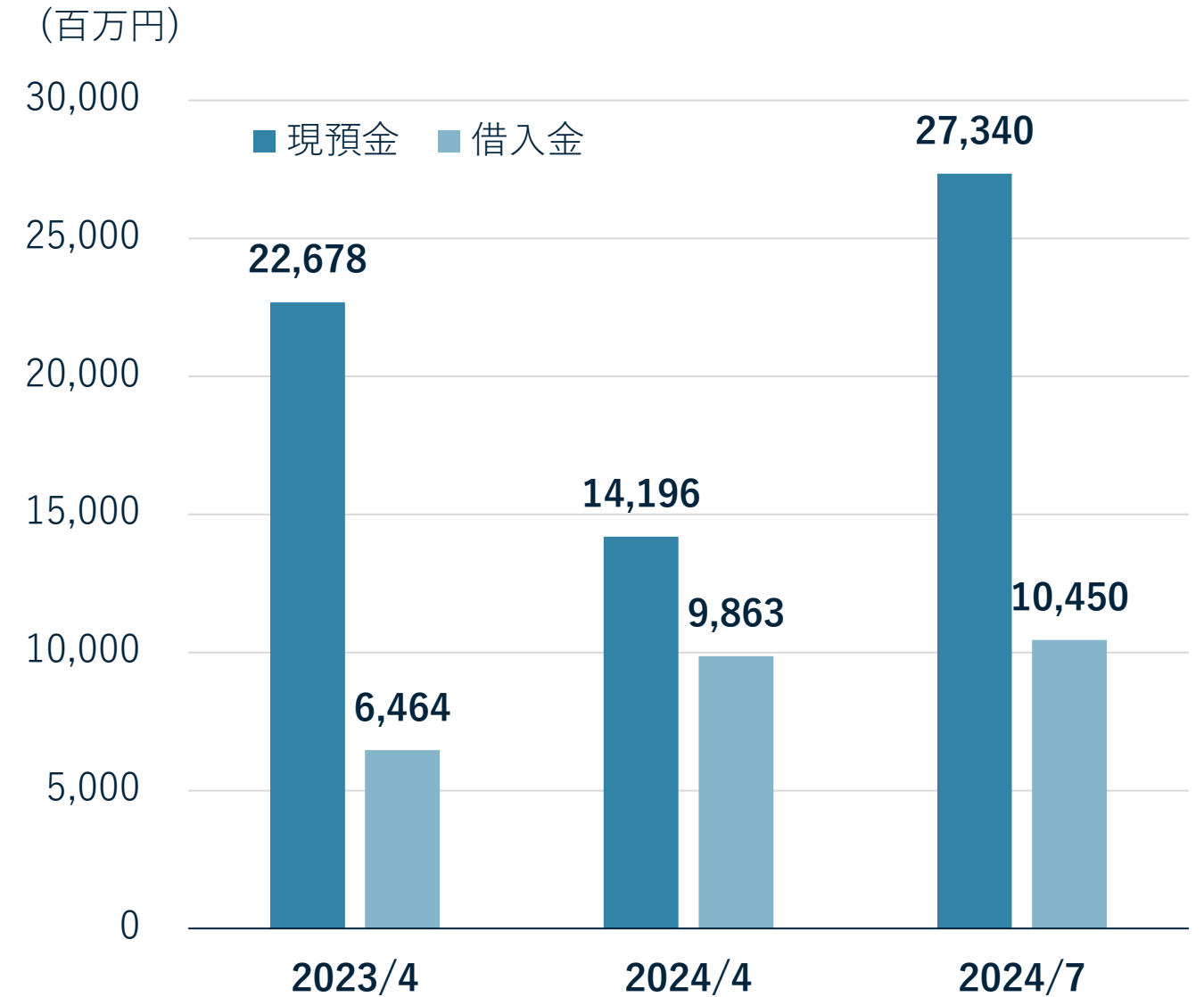
第1四半期のフリー・キャッシュ・フローは、主に損失増加により想定通り大きく減少。  
第2四半期は、損益の改善と顧客からの前払金を受け取る予定であるため、大幅な改善を見込む。

## 四半期フリー・キャッシュ・フロー推移<sup>(1)</sup>

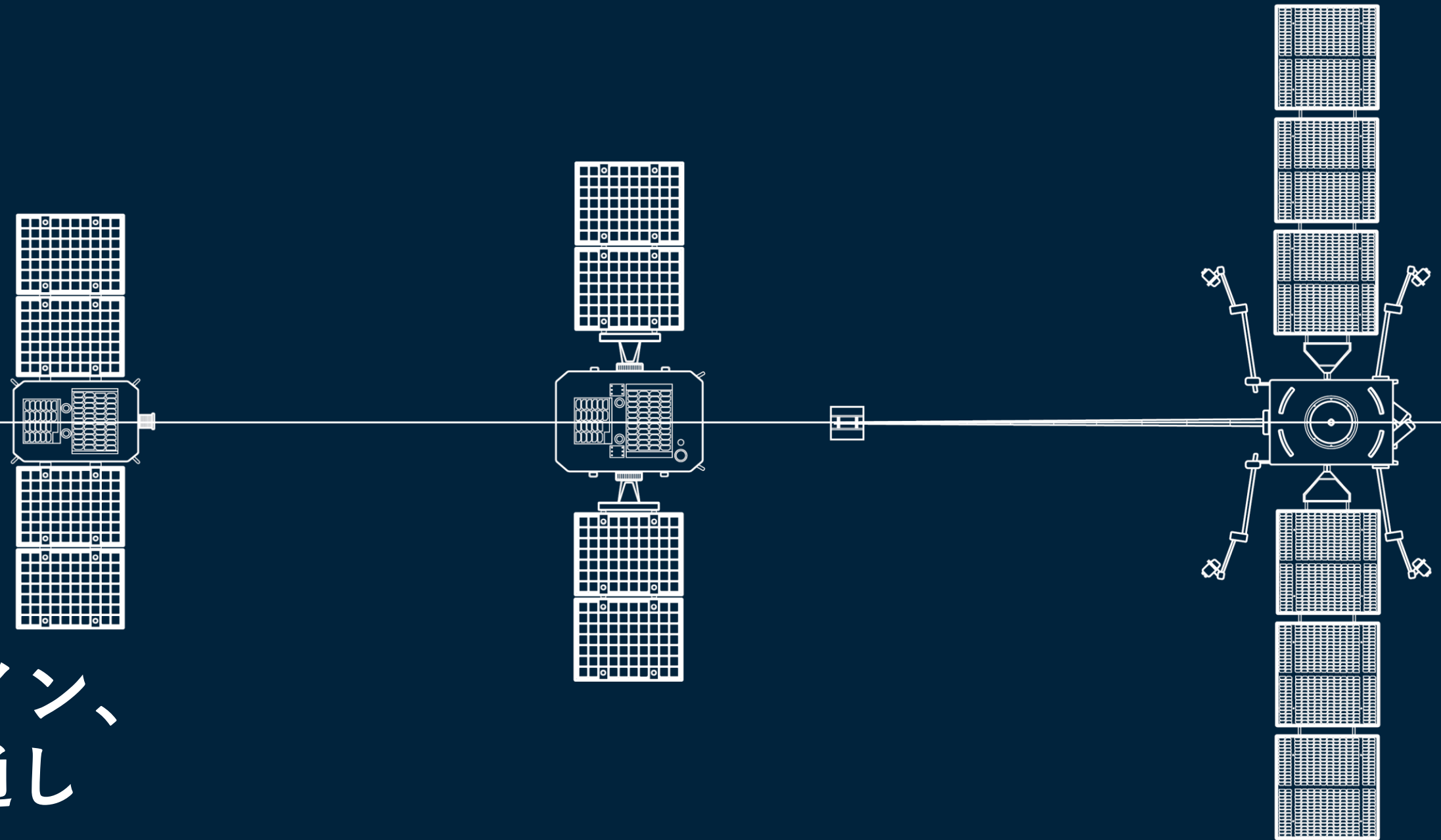


	2024/4期 Q1	2024/4期 Q2	2024/4期 Q3	2024/4期 Q4	2025/4期 Q1
営業 CF	(4,344)	(2,071)	(2,682)	(3,723)	(6,967)
投資 CF	(821)	(98)	(79)	(182)	(171)
財務 CF	569	1,612	190	1,773	20,465

## 現預金及び借入金残高



(1) フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの和。



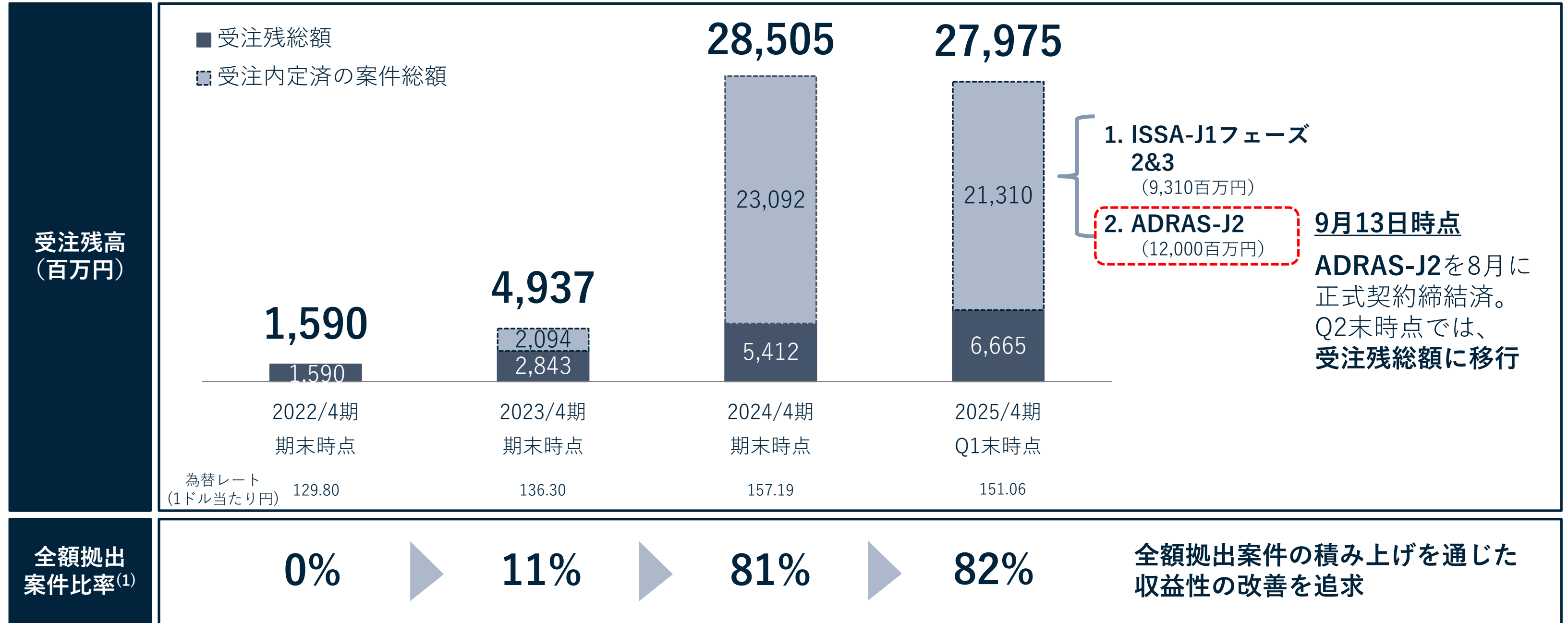
SECTION 3

受注残高、パイプライン、  
2025年4月期通期見通し





# 受注残高



(1) 全額抛出案件は弊社が顧客に提案する範囲の費用を全額顧客に負担いただける案件と定義。比率は案件の金額を基準に計算。

(2) 受注残高は、現時点では未受注であるものの競合が存在しない後続フェーズにおける当社グループによる受注が期待できると認識するSBIRフェーズ2及び3に係る想定受注金額/受注残高及び2024年8月に契約締結したADRAS-J2 (2024年7月末時点で契約未締結) の受注金額/受注残高を含む



# パイプラインの状況 (政府機関需要)

(2024年9月13日時点)

**想定プロジェクトタイムライン**

- 自己資金 (Yellow dot)
- 政府機関 (契約済) (Dark Blue bar)
- 民間 (契約済) (Light Blue bar)
- ★ 今期受注を目指す戦略的プロジェクト (Red star)
- / ■ 打上げ予定 (Yellow dot/box)
- 政府機関 (未契約) (Light Blue bar)
- 民間 (未契約) (Light Blue bar)

為替レート前提:  
 US\$1 = ¥140  
 €1 = ¥150  
 £1 = ¥175

#	プロジェクト	サービス	顧客	当社拠点	費用負担	支払形態	計上科目	CY2020	CY2021	CY2022	CY2023	CY2024	CY2025	CY2026	CY2027
								FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028
<b>契約済/選定済及び提案中のプロジェクト</b>															
1	ELSA-d	-	-	-	自己資金	-	-								
2	ADRAS-J	ISSA	政府機関	日本	一部拠出	マイルストーン	売上収益	19億円							
3	ELSA-M	EOL	政府機関	英国	一部拠出	マイルストーン	売上収益			フェーズ2: 2.9百万ユーロ (4億円)	フェーズ3: 14.8百万ユーロ (22億円)	★	フェーズ4: 13.95百万ユーロ (20億円)		
4	COSMIC	ADR	政府機関	英国	全額拠出	マイルストーン	売上収益			フェーズ0/A: 0.3百万ポンド (0.5億円)	フェーズB: 2.0百万ポンド (3億円)	★	フェーズ2 (C1): 1.95百万ポンド (3億円)	フェーズC/D/E: 40~60百万ポンド (70~105億円)	
5	ISSA-J1 (SBIR)	ISSA	政府機関	日本	全額拠出	マイルストーン	その他の収益					★	2024/9新規契約!	フェーズ1: 26億円	フェーズ2/3: 93億円
6	APS-R	LEX	政府機関	米国	一部拠出	マイルストーン	その他の収益					★	2024/7増額!	26.9百万ドル (37億円)	
7	ADRAS-J2	ADR	政府機関	日本	全額拠出	マイルストーン	売上収益		概念検討: 9百万円		FL技術検討: 0.7億円		★	120億円	
8	LEXI-P	LEX	民間/政府	米国	全額拠出	マイルストーン	売上収益					★	2024/8新規契約 & 想定対比増額!	121百万ドル (169億円)	
9	Project A	LEX	政府機関	日本	全額拠出	マイルストーン	売上収益						★	~109億円	
<b>協議中の潜在的プロジェクト</b>															
i	MELCO (Bus)	その他	民間/政府	日本											
ii	防衛案件	ISSA	Institutional	-											
iii	防衛案件	ISSA	Institutional	-											

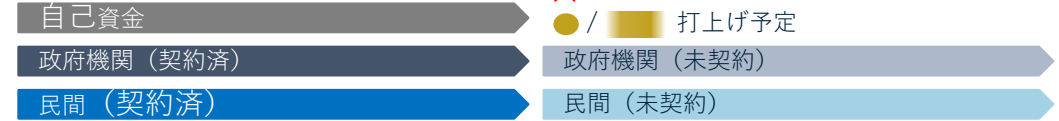
注: プロジェクトのタイムラインや未契約プロジェクトの契約金額等の詳細は現時点における会社の想定であり、今後変更の可能性があるので留意が必要。「全額拠出」は、契約に基づき拠出される資金により、当社グループが提案した範囲につき、当社グループが負担すると予想される経費の全額が補填されると当社が見込んでいることを示し、「一部拠出」は、契約に基づき拠出される資金により、かかる経費の一部が補填されるに留まると当社が見込んでいることを示す。各ミッションに係る実際の契約金額や、当社グループが実際に負担する経費の金額は、現時点における当社の想定から乖離する可能性があり、特に、契約締結時に想定されていなかった経費が契約締結後に追加的に発生した場合には、ミッションによっては基本的に当社グループの負担となるため、契約に基づき拠出される資金により、当社が負担する経費の全額を補填することができない可能性がある。



# パイプラインの状況 (民間需要)

(2024年9月13日時点)

### 想定プロジェクトタイムライン



為替レート前提:  
 US\$1 = ¥140  
 €1 = ¥150  
 £1 = ¥175

#	プロジェクト	サービス	顧客	当社拠点	費用負担	支払形態	計上科目	CY2020	CY2021	CY2022	CY2023	CY2024	CY2025	CY2026	CY2027
								FY2021	FY2022	FY2023	FY2024	FY2025	FY2026	FY2027	FY2028

## EOLミッション (ELSA-Mシリーズ衛星を使用)

3	ELSA-M	EOL	政府機関	英国	一部抛	マイルストーン	売上収益	フェーズ2: 2.9百万ユーロ (4億円) → フェーズ3: 14.8百万ユーロ (22億円) → フェーズ4: 13.95百万ユーロ (20億円)							
-	EOL	EOL	民間	英国	全額抛	契約次第	売上収益	2024/7新規契約! → EOLサービスに発展 → 年複数機の契約を想定							



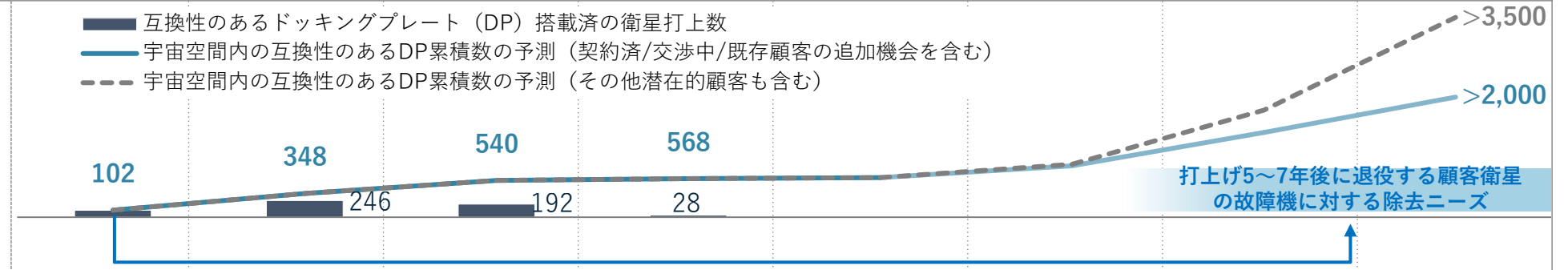
### ELSA-Mに関する当社想定

**ELSA-Mサービサー**

- サービサー当たりのデブリ除去数: 3機
- 1除去当たりの収益 (計画値): 8-13 百万ドル

**顧客衛星**

- 顧客衛星の寿命: 5-7年
- 顧客衛星の故障率 (当社想定) (1): 7-8%



## LEXミッション (LEXIシリーズ衛星を使用)

8	LEXI-P	LEX	民間/政府	米国	全額抛	マイルストーン	売上収益	★ 121百万ドル (169億円)							
-	LEXI-G	LEX	政府機関	米国	全額抛	マイルストーン	売上収益	LEXサービスに発展 → 政府、民間合わせて年1~2機の契約を想定							
-	LEXI-C	LEX	民間	米国	全額抛	契約次第	売上収益								



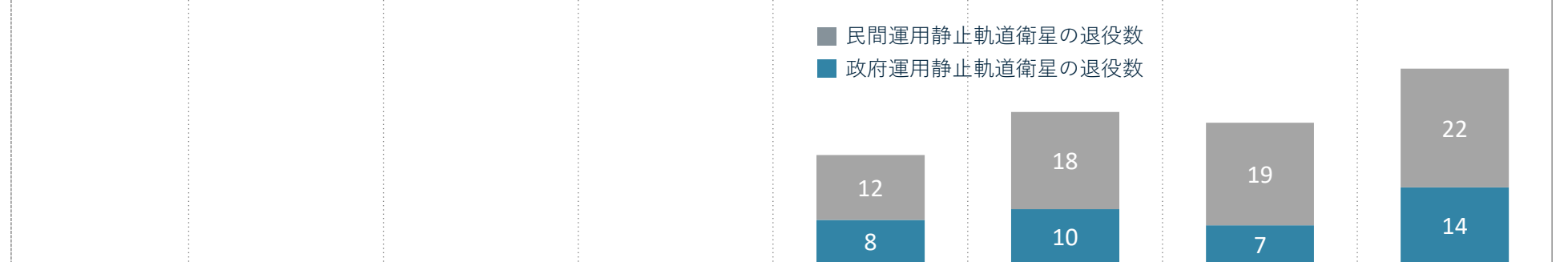
### LEXIに関する当社想定

**LEXIサービサー**

- 合計寿命延長可能年数: 15年
- サービサー1機当たり収益機会: 121 - 215 百万ドル (衛星を売却する場合)

**顧客衛星 (静止軌道衛星)**

- 顧客衛星の寿命: 15年
- 顧客生成の製造単価: 数億ドル



(1)過去の衛星システムの故障率調査に基づく当社推定の故障率。この故障率は、互換性のあるドッキングプレートを搭載した現在の衛星システムの実際の故障率を示すものではない。注: 上記ELSA-M及びLEXIの当社想定、ドッキングプレートや運用停止予定の衛星の数等は当社予想に基づく数値であり、実際の数は上記の予想等は異なる可能性がある。プロジェクトのタイムラインや未契約プロジェクトの契約金額等の詳細は、現時点における当社の想定であり、今後変更の可能性があるので留意が必要。



## 2025年4月期業績予想（2024年6月13日時点から変更なし）

(百万円)	2025/4期 予想	2024/4期 実績	前年比
プロジェクト収益	18,000	4,667	285.7%
営業損益	N/A	(11,555)	-
税引前当期損益	N/A	(9,219)	-
当期損益	N/A	(9,181)	-

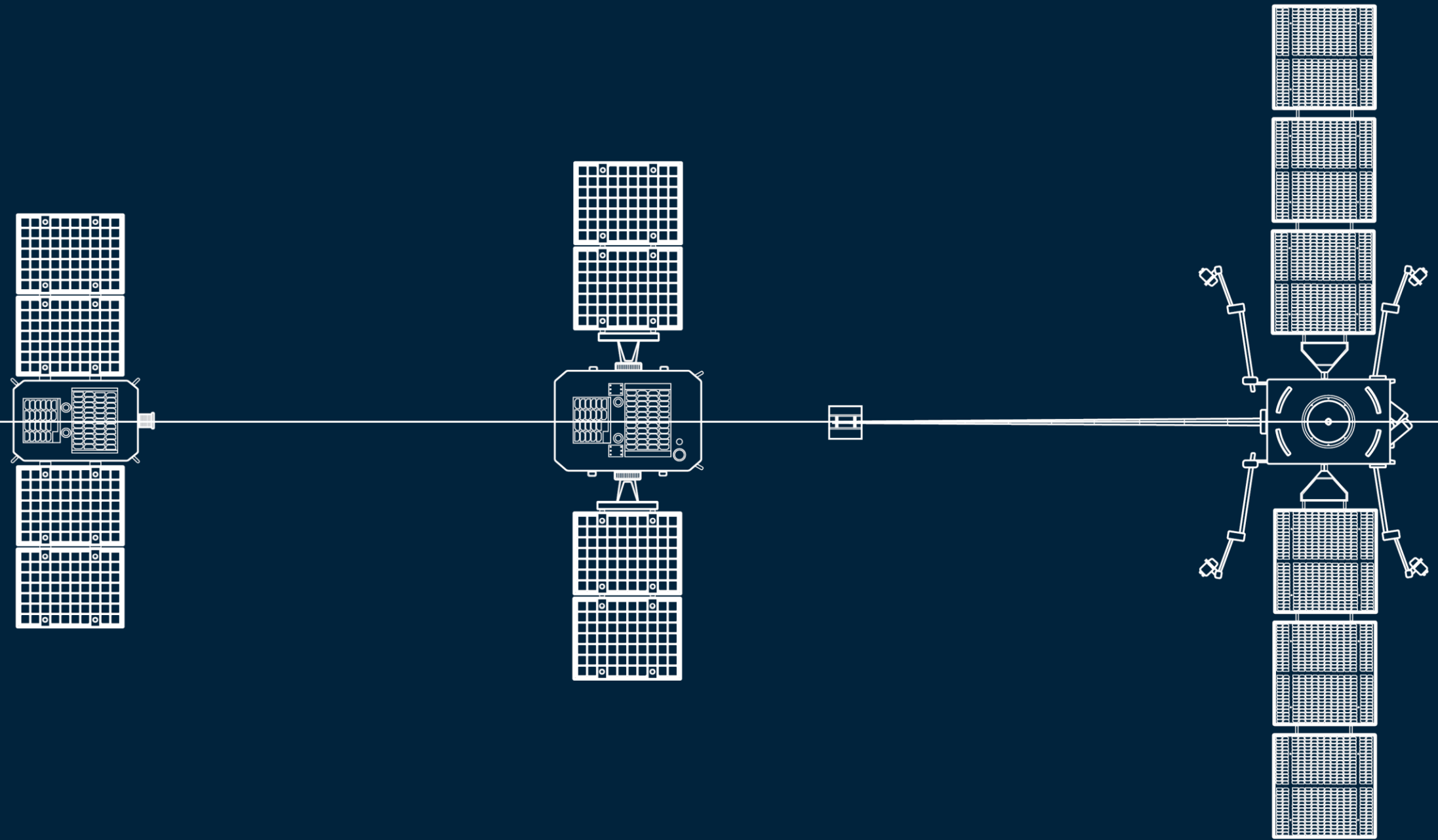
為替前提  
(円)

1ドル	140.00	146.23	(6.23)
1ユーロ	150.00	158.29	(8.29)
1ポンド	175.00	183.85	(8.85)

為替感応度  
(百万円)

80
-
12

注：利益項目の予想を非開示とする理由は、大型プロジェクトは案件毎にコスト認識の違いが生じる可能性が高く、契約内容が判明しない限り、現時点では不確実性を払拭できないため。2025年4月期中に契約締結を期待する大型プロジェクト案件の受注が確定し次第、速やかに通期利益予想を公表する予定。為替感応度は、1円の円安変動に対するプロジェクト収益への影響額。



SECTION 4

その他の活動



# その他の活動

上場前に私募調達ラウンドでご出資下さった株式会社エースタート及び三菱UFJキャピタル株式会社がCEO岡田光信とCFO松山宜弘にインタビューを実施。



TOP ABOUT FUND TEAM INTERVIEW PORTFOLIO NEWS CONTACT

TOP | INTERVIEW | 04: 株式会社アストロスケールホールディングス 1/2

INTERVIEW 04

軌道上サービス経済圏を確立し安全で持続可能な宇宙開発の実現へ

Astroscale 代表取締役社長兼CEO 岡田 光信

@START 代表取締役CEO 渡邊 一正

STORY

アストロスケールホールディングスは、2013年に設立され、安全で持続可能な宇宙環境を目指し、スペースデブリ（宇宙ごみ）の除去を含む軌道上サービスを提供する。コア技術である「宇宙空間の非協力物体に対するRPO技術」を用いて、運用終了後の人工衛星のデブリ化防止のための除去サービス、既存のデブリ除去サービスだけでなく、軌道変更・軌道維持・燃料補給による衛星の寿命延長サービス、故障機や物体の観測・点検サービスに取り組む。2024年6月5日に東証グロース市場へ新規上場した。

リリース： 2024年8月8日  
 取材元： 株式会社エースタート  
 記事を読む： [外部リンク](#)



MUFG 三菱UFJキャピタル株式会社

JAPANESE | ENGLISH | MUCAP50th Anniversary | 文字サイズ 小 中 大

当社の特徴 チーム 投資活動/実績 ポートフォリオ "Real Voices" ニュース 企業情報

HOME > "Real Voices" > スペースデブリ問題を解決し、宇宙と地球を持続可能に

"Real Voices" "リアルボイス"

株式会社アストロスケールホールディングス  
 代表取締役社長兼CEO 岡田 光信 氏 (左)  
 最高財務責任者 (CFO) 松山 宜弘 氏 (右)

リリース： 2024年8月29日  
 取材元： 三菱UFJキャピタル株式会社  
 記事を読む： [外部リンク](#)





# 過年度財務情報：連結損益計算書等

(百万円)	2022/4期	2023/4期	2024/4期	2024/4期 Q1	2025/4期 Q1
受注高	675	2,980	6,775	-	2,582
プロジェクト収益 (Non-GAAP)	910	1,792	4,667	577	1,166
売上収益 (IFRS)	910	1,792	2,852	577	239
売上原価	(2,742)	(6,988)	(5,097)	(745)	(3,740)
売上総利益	(1,832)	(5,195)	(2,245)	(168)	(3,501)
売上総利益率	(201.3)%	(289.8)%	(78.7)%	(29.1)%	(1,462.6)%
研究開発費	(2,170)	(2,861)	(5,001)	(961)	(3,080)
販売費及び一般管理費 (研究開発費除く)	(2,591)	(4,547)	(6,694)	(1,340)	(2,170)
その他の収益	190	2,938	2,386	0	1,154
営業利益	(6,404)	(9,665)	(11,555)	(2,470)	(7,597)
営業利益率	(703.5)%	(539.1)%	(405.1)%	(428.0)%	(3,173.8)%
金融収益	853	507	2,824	809	15
金融費用	(12)	(155)	(488)	(116)	(997)
税引前当期利益	(5,563)	(9,314)	(9,219)	(1,776)	(8,579)
法人所得税費用	79	49	38	(0)	(0)
当期利益	(5,484)	(9,264)	(9,181)	(1,776)	(8,579)
基本的1株当たり当期利益 (円)	(73.66)	(111.16)	(101.45)	(19.73)	(80.98)





# 過年度財務情報：連結財政状態計算書

(百万円)	2022/4期	2023/4期	2024/4期	2025/4期 Q1
資産				
流動資産				
現金及び現金同等物	16,869	22,678	14,196	27,340
営業債権及びその他の債権	401	472	1,044	735
契約資産	84	496	794	952
その他	235	769	1,710	2,200
流動資産合計	17,590	24,417	17,746	31,229
非流動資産				
有形固定資産	1,778	5,151	6,214	6,107
無形資産	143	138	220	242
その他	613	730	809	787
非流動資産合計	2,535	6,020	7,244	7,136
資産合計	20,125	30,437	24,990	38,366

(百万円)	2022/4期	2023/4期	2024/4期	2025/4期 Q1
負債				
流動負債				
営業債務及びその他の債務	774	1,674	2,945	1,827
契約負債	109	253	-	-
借入金	943	988	2,487	3,099
引当金	1,899	3,726	2,071	2,095
リース負債	146	226	239	229
その他	73	116	1,119	653
流動負債合計	3,946	6,987	8,864	7,905
非流動負債				
借入金	500	5,475	7,375	7,350
引当金	672	43	271	2,544
リース負債	914	3,041	3,078	2,989
非流動負債合計	2,087	8,559	10,725	12,884
負債合計	6,033	15,547	19,589	20,790

資本				
資本金	100	100	100	10,185
資本剰余金	14,881	19,643	7,858	9,724
利益剰余金	(487)	(4,287)	(679)	(1,255)
その他の資本の構成要素	(402)	(564)	(1,878)	(1,079)
親会社の所有者に帰属する持分合計	14,091	14,890	5,401	17,575
非支配持分				
資本合計	14,091	14,890	5,401	17,575
負債及び資本合計	20,125	30,437	24,990	38,366



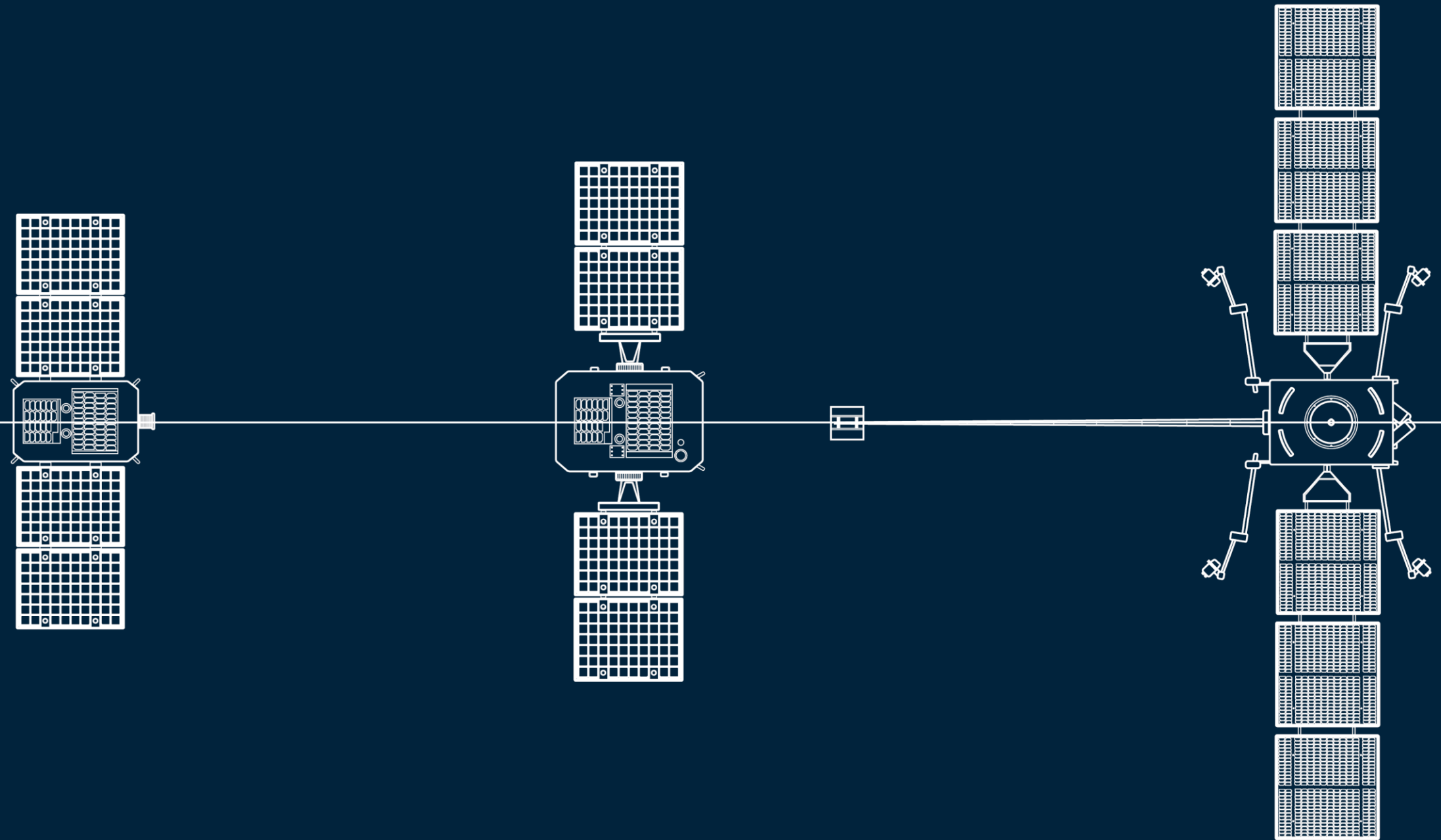
# 過年度財務情報：連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)	2022/4期	2023/4期	2024/4期	2024/4期 Q1	2025/4期 Q1
営業活動によるキャッシュ・フロー					
税引前当期損失	(5,563)	(9,314)	(9,219)	(1,776)	(8,579)
減価償却費及び無形資産償却費	192	455	739	173	257
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	588	(894)	(1,738)	(474)	(578)
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	451	1,045	881	(874)	(1,075)
引当金の増減額 (△は減少)	(629)	1,067	(1,952)	(1,007)	2,325
その他	(712)	(2,864)	(3,988)	(426)	152
小計	(5,673)	(10,505)	(15,277)	(4,386)	(7,497)
その他	172	2,568	2,455	41	530
営業活動によるキャッシュ・フロー	(5,501)	(7,937)	(12,822)	(4,344)	(6,967)
投資活動によるキャッシュ・フロー					
有形固定資産の取得による支出	(480)	(1,528)	(1,082)	(808)	(135)
無形資産の取得による支出	(24)	(10)	(87)	(0)	(35)
その他	(157)	(95)	(12)	(12)	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	(662)	(1,634)	(1,182)	(821)	(171)
財務活動によるキャッシュ・フロー					
株式の発行による収入	12,381	10,189	996	-	19,854
短期借入金の純増減額 (△は減少)	943	20	1,424	-	612
長期借入れによる収入及び返済による支出	500	5,000	1,975	636	-
その他	(30)	18	(250)	(66)	(1)
財務活動によるキャッシュ・フロー	13,794	15,227	4,145	569	20,465
現金及び現金同等物に係る換算差額	295	154	1,377	265	(182)
現金及び現金同等物の増減額	7,925	5,809	(8,482)	(4,331)	13,144
現金及び現金同等物の期首残高	8,943	16,869	22,678	22,678	14,196
現金及び現金同等物の期末残高	16,869	22,678	14,196	18,347	27,340



お問合せ先

[ir@astroscale.com](mailto:ir@astroscale.com)



visit us at [www.astroscale.com/ir/jp](http://www.astroscale.com/ir/jp)

Astroscale Proprietary